

調べ方テキスト

中学校用



— はじめに —

学校図書館には、日本や外国の文学、百科事典や図鑑、産業や科学など多くの種類の本があります。

この「調べ方テキスト」を使って、課題や疑問を調べる方法を学び、

学校図書館を十分に活用して学習に役立ててほしいと思います。

また、新宿区立図書館も進んで利用しましょう。

新宿区教育委員会

課題解決の進め方

課題の設定

テーマを決めよう。スタートが大事！

「何について調べるか」

情報の収集

具体的な問題について調べましょう。

「徹底的に調べよう！」

整理・分析

集めた情報を取捨選択してみましょう。

「情報の整理・分析は学習の要！」

まとめ・表現

仮説と調査結果を比べてよく考え、結論を言葉でまとめましょう。

「調べてみたら～がわかった だから私はこう考える」

テーマの探し方

課題の設定

①「おや？」「なぜ？」を探しましょう

日常生活の中で何かに興味や疑問をもったことはないでしょうか。小さなことだと思っても、調べてみたら意外に奥が深い場合もあります。テーマの種を見逃さないようにキャッチしましょう。

②関心があることを挙げてみましょう

趣味、特技、最近のニュース、自分の得意な分野、友達との会話などの中にはテーマの種が隠れています。関心があることを片端から書き出してみましょう。

③テーマ探しのいろいろな方法を試してみましょう

マンダラート法

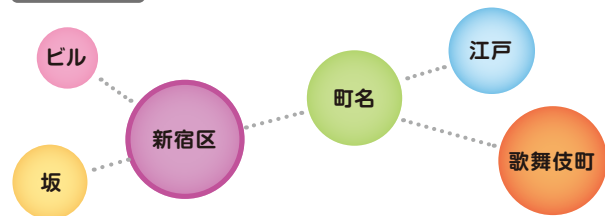
料理	日本ではいつ頃から食べられているのか	伝来
育て方	トマト	
種類		

関連したことを表にまとめながら書いてみる方法

考えよう

- ①なぜそれを調べたいのか
- ②調べる価値のあることか
- ③自分の力で調べられる難易度か

マッピング



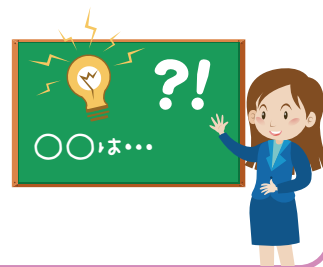
関連したことをどんどんつなげて書いてみる方法

④関連した情報を少し調べてみましょう

特に、大きなテーマがある時には（例：「京都」「職業」など）何の予備知識もなくテーマを決めるのは難しいものです。関連した情報を少し調べてみましょう。調べる中でテーマの種を探しましょう。

テーマが決まったら

自分が決めたテーマについて、自分の予想を言語化しましょう。「町の名前は、～ことでつけられたのではないか」というように言葉にすることで、次に何を調べればよいかははっきりしてきます。



情報の収集

調べる方法には、どのような方法があるでしょうか。それぞれ長所、短所があるので、いくつかの方法を組み合わせると効果的に調べましょう。1つの資料では不十分なので、必ず複数の資料を活用しましょう。

①実際に調査する

実験、観察、実態調査、フィールドワーク、インタビューなど、実際に自分自身が足を運んだり、声を出したりして、生の調査結果を得ます。博物館や歴史館等も活用しましょう。利点は、なんといっても実際に得た調査結果なので、説得力があることです。ただし、調査の方法が適切であったか、調査対象に偏りはなかったか、十分な量の調査結果が得られたかなどに注意しましょう。

②メディアを活用する

①本で調べる（学校図書館や区立図書館へ行く）

- ◆調べたい内容の分類記号の棚へ行き、本を探す
- ◆百科事典や図鑑、年鑑など、調べるための本を使う
- ◆図書館の司書の方や学校図書館支援員、先生に相談する

②インターネットで調べる

新しい情報を得るのは、インターネットの得意とするところですが、古い情報も混在しているので注意しましょう。また、誰でも発信できる手軽さから、誤った情報が多いのも事実。信頼できるサイトかどうかを見極めましょう。

③新聞、雑誌、パンフレット、リーフレット、テレビ等で調べる

目的に応じて、メディアの特性を活かして様々なメディアを活用しましょう。同じ出来事であっても、伝え方はそれぞれ違うので比較してみましょう。

③情報源を記録する

どこから情報を得たのか、まとめる際に明記する必要があります。後で困らないように記録しておきましょう。

本 → 著者名、書名、出版者（出版社）、発行年、ページ

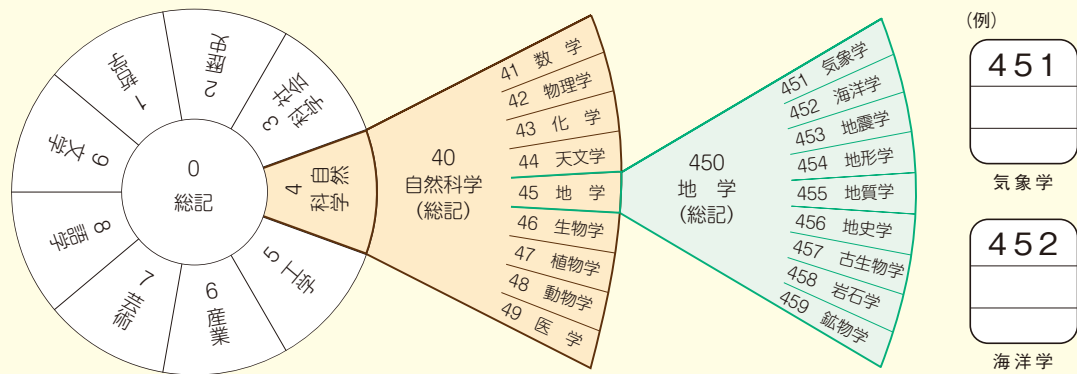
新聞 → 記事名、新聞名、発行年月日、朝夕刊、ページ、筆者名

インターネット → Webページ名やサイト名、URL、作成者名、アクセス年月日
など



●日本十進分類法 (NDC) のしくみ

図書館の本は、日本十進分類法 (NDC) によって、左から右に時計回りに並べられています。



整理・分析

情報を集めただけでは学習したことにはなりません。集めた情報をどう読み取り、何を考えるか、そこからが学習の要です。

①情報を取捨選択する

集めた中から、自分のテーマに関係があるものとないものに分けます。

②情報を比較する

複数の情報を比べて、共通点は何か、相違点は何か、なぜ違いがあるのか、といったことを考えます。

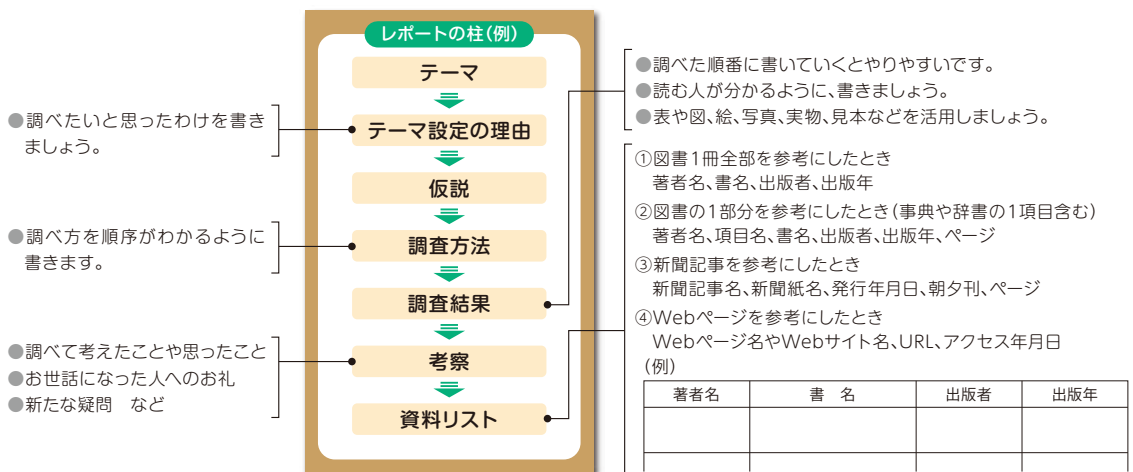
③結論を出す

調べた情報を根拠として、自分の仮説が証明されたか否か、結論を出します。場合によっては、さらに疑問が生まれたり、思ったように解決できなかったりする場合も出てきますが、それも含めて結論とし、そこにいたるまでの経過をまとめましょう。

まとめ・表現

わかりやすくまとめる

最初から最後までをわかりやすくまとめましょう。項目ごとに整理したり、図表や写真を使ったり、見やすくなるよう記号や枠線なども工夫してみましょう。



図書館を使った調べる学習コンクール

新宿区立図書館では「図書館を使った調べる学習コンクール」を行っています。学校を通じて応募しましょう。